

介護ロボット開発による腰痛災害の減少に期待 ～局長がトヨタ自動車広瀬工場を視察～

4月6日、木暮局長はトヨタ自動車広瀬工場において各種ロボットを視察しました。

リハビリ支援ロボットは、医療用器具としての承認を得て実用化され、病院等で使われていきます。労災で被災された方への活用が望まれます。



また、介護を助けるロボットは、日々改良を続けている段階ですが、老人介護施設などに導入されることにより、働く人にとっての負担を軽減し、腰痛災害が減少することが期待されます。

リハビリ支援ロボットを視察する木暮局長